

地域おこし協力隊に
初めまして!
着任しました

観光を通じた地域づくりに
仙北市地域おこし協力隊
なかやま 中山里沙さん



9月1日、仙北市地域おこし協力隊として、埼玉県出身の中山里沙さんが着任しました。観光地域づくり候補法人(候補DMO)「一社」田沢湖・角館観光協会と登録DMOへの昇格を目指すための各種取り組みや、登録DMOになった後は、DMOの運営をサポートする一員として観光事業の推進などに取り組みます。

伝いをするなど、そこでの生活を通じてますます仙北市の魅力にひかれたそうです。そのような縁もあり、本格的に仙北市への移住を考えていたところ地域おこし協力隊の募集を知り、応募に至ったこと。

中山さんは「観光を通じた地域経済の活性化を目標に取り組んでいきたい。また、地域の持つよさを大事にしなが、地域全体が持続的に続いていくことができるように新しいことにも目を向けていきたい」と話しました。

DMOとは
Destination Management Marketing Organizationの略。地域の多様な関係者を巻き込みつつ、科学的アプローチを取り入れた観光地域づくりを行う能取役割となる法人のこと。

世代を超えてのスポーツ交流 グラウンドゴルフで 交流深める

仙北市老人クラブ連合会の会員と市内の小学生がスポーツを通じて交流を図る「世代を超えてのスポーツ交流」の今年度第1回目が8月25日、白岩小学校グラウンドで行われました。

当日は、地元の老人クラブの会員16人と同校の5・6年生の児童23人が参加、グラウンドゴルフで交流を深めました。

30℃を超える暑い中、老人クラブの会員と児童は混合のグループに分かれてそれぞれスタート。初めてグラウンドゴルフをする児童もいる中、同じグループの会員が児童たちにルールや打ち方を丁寧に教える場面が見られました。後半になると児童たちも上達し、プレーのたびに歓声があがるなど、交流を深めていました。

参加した児童からは「ホールに入れるのが難しかったけど、とても楽しかった」などの声が聞かれました。仙北市教育委員会が主催するこの交流事業は、8月から9月にわたって市内の六つの小学校を会場に行われます。



白岩小学校のグラウンドには6ホールのコースが設置されました。

美味しいそばのできあがり 親子そば打ち教室

仙北市そばの会では、8月22日、神代就業改善センターで親子そば打ち教室を開催しました。

当日は、5組の親子が初めてそば打ちに挑戦。ふれたことのない道具に苦戦しながらも、先生方から一つひとつの工程について熱心に指導を受けていました。最後には、自分たちで打ったそばができてありがたみを感じられました。また、午後からは毎月1回恒例のそば打ち教室も開かれ、先生方からアドバイスをもらいながら自分の打ったそばを完成させていました。



親子そば打ち教室の様子。道具の使い方や力の加減などを聞きながら作っていました。

仙北市 × 大塚製薬株式会社 連携と協力に関する協定を締結



協定を取り交わした大塚製薬(株)の迫上智博支店長(左)と門脇市長(右)。

8月31日、市役所田沢湖庁舎で仙北市と大塚製薬株式会社とが連携と協力に関する包括協定を締結しました。同社が秋田内陸リゾートカップ100キロチャレンジマラソンで熱中症対策として飲料の協賛をしていたことから締結に至った今回の協定。相互の資源を有効に活用し連携の強化を図ることで、持続可能な地域社会の形成やスポーツ振興、市民の健康づくりのほか、市民サービスの向上と地域の活性化などを目的としています。

活動は仙北市と一緒に取り組んでいきたい」と話しました。また、門脇市長は「健康寿命の延伸が仙北市の課題になっている。高齢化が進む中で市民の健康を守ることが重要だと今回の協定は色々な可能性を含んでいる。この後の事業を共に進めていきたい」と話しました。今年度は、SDGsの達成に向けて、市内企業への健康に関する医学的情報提供による支援や健康経営に関するオンラインセミナーなどを開催する予定です。

- 締結式で同社の迫上智博仙台支店長は「今回の協定の締結をきっかけに、健康課題を少しでも解決できるような活動を仙北市と一緒に取り組んでいきたい」と話しました。
- 協定の内容(連携事項)**
- 1 SDGsの取組達成に関すること
 - 2 スポーツ振興に関すること
 - 3 熱中症対策への支援に関すること
 - 4 健康づくりに関すること
 - 5 災害における相互支援に関すること
 - 6 その他、両者が協議し必要と認めた事項

栄光 ~輝くとき

8月23日、令和2年度第18回秋田県小学生秋季ソフトテニス大会が大仙市総合公園テニスコートで開催され、澤山こころ(仙北市ジュニア)・小室柚菜(秋田市ジュニア)ペアが女子6年生の部で優勝しました。

14ペアが出場した同部で澤山・小室ペアは、予選リーグの勢いをそのままに決勝トーナメントでも勝ち進み、見事頂点に立ちました。

また、男子5年生の部では、仙北市ジュニアの加藤悠愛・進藤天翔ペアが3位に入り健闘しました。



優勝した澤山さん(左・西明寺小6年)と小室さん(右・牛島小6年)ペア。



3位に入った加藤さん(左・生保内小5年)と進藤さん(右・西明寺小5年)ペア。

第18回秋田県小学生秋季ソフトテニス大会

- 女子6年生の部 澤山・小室ペアが優勝
- 男子5年生の部 加藤・進藤ペアが3位